

読書コーナー

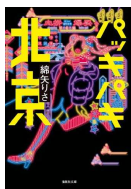
パッキパキ北京

著：綿矢りさ

一味おいしくてやる、
この都市のキラつきの全てをー

こんなキャッチコピーと、ド派手な装丁のインパクトが目にとまった本書。あらすじを読んでみると、自分と同世代の女性主人公・菖蒲が、単身赴任中の夫に呼ばれ北京へ渡るところから始まります。まず、自分では選べない選択肢…面白そうと思い購入しました。

北京へ渡り、コロナ禍での隔離期間を経た後、街へ繰り出



す菖蒲。様々な環境や文化の違いを俯瞰し、それらをとでも積極的に、且つ前向きに受け入れる様子が「どこでも生きていけそう」「どんな環境にも屈しなそう」そんな印象を受けます。「中国に馴染めず適応障害気味だ、そばに来て助けてほしい。」と言って菖蒲を呼び寄せた夫とは、正しく正反対。

異文化も言葉の壁も何のその。きっとこの先も、新天地で彼女らしく生きていくのだらうと思った矢先、夫に呼ばれ話し合いの場を求められます。価値観の違い、見据える未来の違い、求められる生き方。これらが明確になった末、彼女が選ぶ生き方とは。

私は自身の半生が誰よりも面白く、ネタに富んでいて他に無い最高の人生だと思って生きていますが、彼女の生き方は自身とは違うぶっ飛び方で、最後まで彼女らしく痛快かつ爽快感に生きて欲しいと感じる物語でした。

(文責：林)

将軍の日 (中期5カ年経営計画作成セミナー)

『将軍の日』とは

戦国時代、将軍が戦場から離れた陣営で、戦局を見極め戦略・戦術を立てたように、経営者が日常業務から離れ電話も来客もない環境で、将来を見据え経営計画を作るセミナーです。社長を将軍にみ立て、『将軍の日』と命名されました。

【受講料】
55,000円(税込)/名
2名様以降5,500円(税込)

お問い合わせ：めいわ税理士法人
027-361-5568 担当：森平



先行経営Tasseiを行いませんか！

先行経営 Tassei とはズバリ「経営者の描く目標を達成させること！」です。そして目標を達成させるためには「経営計画」が必要です。経営計画を立てても実現しないのは、計画とズレたことを把握したあとの行動が伴っていないから。計画とのズレを毎月見定め、修正行動に移す。この一番実践できない「修正行動」の部分を、実際に行っていくことが出来るのが「先行経営Tassei」なのです。と同時に、経営者の意識や行動が明らかに変化します。

【料金】月額 55,000円(税込)から

編集後記

9月1日は防災の日です。大雨等による災害が発生しやすい季節です。自社の防災対策が十分かどうか、今一度見直してみたいいかがでしょうか。

めいわ新聞

MEIWA SHINBUN
令和8年 9月号
第205号

高橋税経グループ

めいわ税理士法人 TEL:027-361-5568

株主サービスセンター TEL:027-364-8040

相続手続支援センター群馬 TEL:027-363-5959

〒370-0006 群馬県高崎市関原町4-7-3 高橋税経ビル FAX:027-361-9591 URL:https://meiwa.tax E-mail:info@meiwa.tax



所長挨拶

初秋の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

熊本地震の発生からすでに1カ月が経過しました。当初の直接被害の大きさは目を疑うばかりでしたが、その後もインフラの崩壊により不自由な生活を余儀なくされている多くの方々がいらっしゃいます。被災地の方々には心からのお見舞いを申し上げます。

今回はその熊本地震について思ったことをいくつか・・・

断水が続いていた地域もかなり復旧が進んでいるようですが、そんな中鶴巻村は被災地を支援しようと、村内で生産された2リットル入り飲料水のペットボトル6000本を熊本県に向けて発送したという報道が先月ありました。村はおよそ240年前、浅間山が噴火(天明大噴火)大きな被害を受けた際に、当時の熊本藩から様々な支援を受けたという歴史があり、その恩返しとして、今回の支援を決めたということです。10年前の熊本地震の時も、住民から義援金を募り被災地に送ったことがあったということで、村を挙げての恩返しが続いているようです。Pay Forward(恩送り)という言葉が海外にもあるように、「恩」という概念は世界共通のものです。これからも大事にしてゆきたいと思っています。

熊本の宇城市で、被災した靴店が閉店し在庫一掃セールを

しているというニュースを見ました。この店は10年前の地震の時はどうにか改修工事をを行い店を継続したそうですが、今回はとても再開の見通しが立たないとして閉店を決意したそうです。同じ地域の職安には、被災失業をした人たちの向けの特設コーナーができていて、職員に相談している多くの人たちの様子が映し出されていました。

災害は、住居や水道・電気など生活インフラに直接大きな影響を与えますが、同時にそこに住む人たちの生活の基盤となる地域経済にも深刻な影響をもたらします。各企業はそのためにも常日頃から利益を確保するとともに内部留保を厚くし、いざという時に備える必要があると改めて感じました。

熊本では、その後も自宅の再建に1途が立たないまま、避難所生活や車中泊を余儀なくされている人たちがたくさんいます。

潰れた自宅の前で手も付けられず、果敢と立ち尽くす人の姿もありました。全国から救助や支援に駆けつけている人々をテレビで見るにつけて、何も力にならないことを歯がゆく思うところですが、少しでも応援しようと思えば募金や寄付という手段があります。返戻品を求めないふるさと納税による方法もあります。それぞれできる範囲で具体的な支援を考えてみるのもいいのではないのでしょうか。

「暑さ寒さも彼岸まで」という諺もあるように、酷暑・猛暑が収まるのももう少しかもしれません。

皆さまには日々十分ご自愛いただき、毎日をお元気に過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

Contents

P1 所長挨拶・目次
P2 税務トピックス

P3 職場の教養
P4 読書感想文・将軍の日・編集後記

めいわ税理士法人 ～税務TOPICS～

インボイスの8割控除、10月からは7割控除へ

免税事業者などインボイス発行事業者以外の者(以下、免税事業者等)からの課税仕入れについては、経過措置により一定割合の控除が認められています。この控除できる割合が、令和8年10月1日から引き下げられます。

控除できる一定割合

免税事業者等からはインボイスの交付が受けられないため、納付すべき消費税額の計算上、その課税仕入れは原則として仕入税額控除が適用できません。しかし、経過措置が設けられており、下図のとおり一定の期間において、一定の要件の下、仕入税額相当額の一定割合を控除することができます。

8割 → 7割へ

令和8年9月30日までは、仕入税額相当額の8割が控除できます。この割合が、令和8年10月1日からは7割へ引き下げられます。

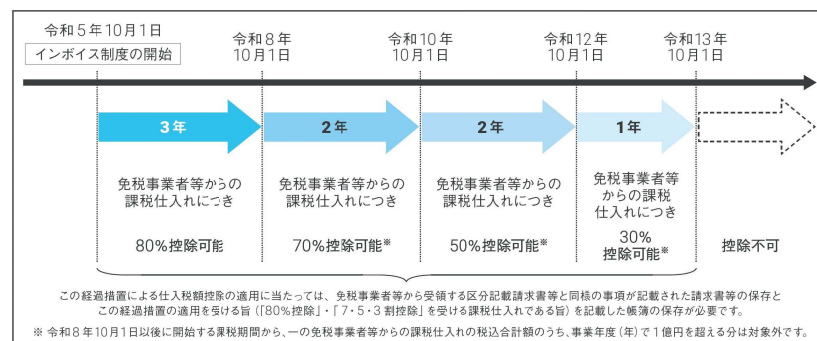
10月1日前後の取引に注意

経過措置の適用において用いる割合は、課税仕入れの時期で判断します。その原則は、下表のとおりです。10月1日前後の取引は、その判断を誤らないように注意が必要です。

	課税仕入れの時期(原則)
役務の提供	約した役務の全部が完了した日
資産の譲受け	引渡しのある日

なお、短期前払費用として支払額全額を支払った日の属する事業年度(年)に費用処理しているときは、消費税の取扱いも原則とは異なり、支払った時点での割合を適用することができます。

[免税事業者等からの課税仕入れに係る仕入税額控除(時系列)]



出典：国税庁「適格請求書等保存方式の概要-インボイス制度の理解のために-(令和8年5月改訂)」一部編集

参考：国税庁「消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するQ&A(平成30年6月)(令和8年5月改訂)」、「適格請求書等保存方式の概要-インボイス制度の理解のために-(令和8年5月改訂)」

朝礼にて ～職場の教養～

毎日の朝礼で、一般社団法人倫理研究所の「職場の教養」を輪読し、感想を述べています。その感想で、良かったものを紹介致します。

7/27(月) 日差しに備える

太陽の光は、体内リズムを整え、心身を健やかに保つうえで欠かせない自然の恵みです。人口の灯りに囲まれて過ごす時間が多い現代だからこそ、年間を通じて自然光を浴びる大切さを見直したいところです。

Aさんは、家族で屋外プールへ出かけました。妻と子供は日差し対策を万全にしていたのですが、Aさんは最低限の準備だけでした。

施設は日陰が少なく、その日は雲一つない快晴でした。時間が経つにつれて肌がヒリヒリする感覚はあったものの、家族団欒を優先し、そのまま過ごしました。

帰宅後、鏡に映る真っ赤な背中を見て、Aさんは事の深刻さに気づきます。翌日には広範囲に水ぶくれができ、肌着の着脱にも苦労することになりました。

太陽の光は有益である一方、近年は夏場の気温や紫外線量が上昇しています、対策を怠れば、日焼けにとどまらず、熱中症などの健康被害を招きかねません。

今日の心がけ 季節ごとの変化に備えましょう

昔は太陽の光が大好きで、海に行ったり川に行ったり思う存分外出て夏を楽しんでいましたが、年々気温の上昇により、おそらく熱中症だろうと思われる症状を一昨経験しました。夏は大好きなので、近年の太陽を舐めてかかっていたのだと思いますが、当日はゴルフ場で帽子を被らず、走り回っていましたが、終わった時に一気に体調不良となりました。

今日の文章の最後にあるように、大切なのは太陽の力を正しく理解し、季節や環境に応じて備えることです。遅いですが、帽子の役割をその日初めて理解しました。建設業の人たちは、この真夏の炎天下の中でも現場に出て仕事をしています。最近では、空調服と呼ばれるような商品も出ています。その他にも塩飴を常備していたり休憩はしっかりと取ったりと、対策を万全にしています。

私の家は、昔から農家をしており、父もこの暑い中田んぼにでています。昔の人なので、こんな余裕だと思っていることだと思います。それはまずいので、この夏、空調服をプレゼントしようと思います。

(文責：堤)

